

学会録事

1. 2008年度日本藻類学会第1回持ち回り評議員会報告

2008年1月22日から31日の期間に第1回持ち回り評議員会を開催し、下記の案件について審議した。その結果、国内評議員16名中11名から回答を得、賛成多数で原案通り了承された。

英文誌 *Phycological Research* における無料掲載論文ページ数上限の設定と、これを超えた論文への超過料金（ページチャージ）の徴収について

英文誌の投稿掲載論文について、無料で掲載するページ数の上限を刷り上がり8ページとする。この上限ページ数を超過した論文については、論文掲載後、超過ページチャージ（18,000円/ページ：出版社との契約における超過ページチャージと同額）を徴収する。

2. 自然史学会連合

2007年度自然史学会連合総会（2007年12月6日：国立科学博物館資料館）

<報告事項>

(1) 講演会の開催：11月25日（日）に、滋賀県立琵琶湖博物館において講演会を実施。(2) 環境省生物多様性国家戦略パブリックコメントへの回答：同回答内容についての説明。(3) 博物館部会：3月（前年度）に会合を行った後、会合の機会をもてなかった。次年度は、学術会議の自然史・古生物研究委員会とも連携しながら、自然史系博物館のあり方を提言できるようなシンクタンク作りと、現場学芸員を主体とした意見交換の場やネットワーク作りをめざしたい。(4) ホームページ：今年度は、前年度に比べ、更新頻度と情報量は増加した。ホームページは創立以来長い期間が経過していることもあり、大幅なりニューアルを検討中。(5) その他：GBIF ワークショップ「21世紀の生物多様性研究の活動「生物多様性インフォマティクスを創出する2」」の開催（12月10日国立科学博物館新宿分館）の後援を行った。また、2008年1月29日に千葉県が開催する「三番瀬再生国際フォーラム」を後援する。

<審議事項>

(1) 2008～2009年度代表選挙：自然史学会連合運営規則7により、次期代表選挙を行った。運営委員会が推薦する現代表の西田治文氏のみが候補者に上がったことから、西田氏の信任投票を行い、西田氏の信任が決定した。(2) 次年度運営委員の選出：西田代表により、運営委員メンバー案を総会に提示し、その方針が承認された。(3) 次期監査役員の選出：運営委員会により、2名の次期監査役員を選出し、承認された。(4) 2006年度会計決算の報告。(5) 監査報告、承認：監査役員出席により、決算が適切に処理されていることが報告さ

れ、承認された。(6) 2007年度会計経過報告：2007年度予算案を提示し、現在までの中間決算の報告を行なった。(7) 来年度の活動方針：前年度同様、連合活動は講演会、博物館部会、ホームページの三本柱により構成される。来年度講演会は千葉中央博（千葉市）で開催可能との連絡を受けており、館長名での実施内諾表明があった。時期は11月から12月となる見込み。連合総会についても今年度同様の時期に実施したいと考えている。ホームページについては先に述べた大幅リニューアルを含め、さらなる内容の充実を図りたい。(8) 2007年度予算案の承認：上の活動方針案に沿って予算案が生まれ、その方針が了承された。(9) その他：今回の講演会要旨集はホームページでの公開を予定しており、講師の方々の承諾を得ているところである。

3. 日本分類学会連合

第7回総会およびシンポジウム（2008年1月12日：国立科学博物館新宿分館）が開催された。

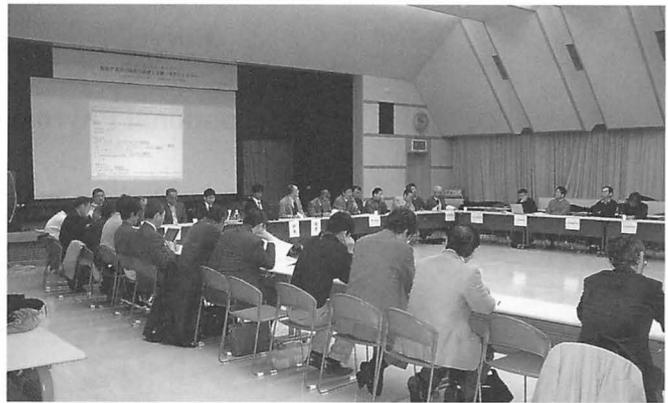
<報告事項>

(1) 庶務：2007年の主な活動。第6回総会の開催（2007年1月7日）、第6回シンポジウム「生活環の多様性を比較する」の開催（2007年1月8日）、役員会の開催（第18回）、ニュースレターの発行。(2) ニュースレター：ニュースレター11号、12号の発行。(3) ホームページ：ホームページの更新状況の報告と新URL (<http://www.soc.nii.ac.jp/ujssb/index.html>) についての連絡。(4) タイプ標本データベース：3万件を超える情報を収集し、作業を継続中。2008年度は連合としての科研費申請は行わず、東京大学や国立科学博物館が引き続き作業を進める。(5) メーリングリスト：Taxa 会員数は2007年末現在で833名。(6) 国際動物命名規約日本語版：2007年は30部を頒布。(7) その他：日本産生物種数調査の2007年度のデータ更新について報告。

<審議事項>

(1) 役員交代：副代表の松井正文氏を新代表とすることが確認された。松井新代表より役員案が提案され、承認された。(2) 2007年度決算・会計監査報告：2007年度の一般会計について、決算案と適正な執行の状況が報告され、承認された。分担金支払状況について報告があり、分担金未納学会の早期の支払いについて要望があった。特別会計について、決算案と適正な執行の状況が報告された後、承認された。(3) 2008年度事業計画 a) 次回シンポジウム案の検討：生物教育学会との3回目の合同シンポジウムを「大系統」をテーマに検討中であることが報告された（植物学会を加えた3団体主催により仙台で開催する方向で検討）。これとは別に東京で連合総会と公開シンポジウムを開催する方向が確認され、役員会で

詳細を検討することとなった。b) ニュースレター：13号をシンポジウム要旨，加盟学会トピックス，14号を加盟学会トピックス，シンポジウム予告として出版。c) ホームページ：現在2つあるHPの早急な一本化を図る。掲載する情報の収集の方法については引き続き役員会で検討（当面の間，加盟学会からの情報や要望は連合メーリングリストまたは佐々木幹事に送る）。d) タイプ標本データベース：証拠標本も加えたデータベース作成を進めたい旨，説明があった。GBIFとの協同も検討。e) その他：生物教育学会との連携に関連して，教員向けの雑誌等に最近の生物分類に関する特集を組んでもらうなどを検討してはどうかとの意見があった。以上の2008年度事業計画について承認された。(4) 2008年度予算：2008年度予算案が示され，承認された。特別会計については頒布に応じた予算執行をしていくとの説明があり，承認された。(5) その他：連合の活動に必要なアルバイト雇用，役員会旅費について意見が出された分担金の値上げも含めて，役員会で検討することが確認された。各種法令へのパブリックコメント，要望書，意見書などへの連合としての対応が必要ではないかとの意見が出され，役員会で検討していくことになった。(6) 次回総会の開催日・開催地：役員会一任で了承された。



分類学会連合の総会（科博新宿分館）

[シンポジウム]

動物界高次分類群の系統と分類—発生から分子へ
「連合代表挨拶」松井正文（京大），「エボデボから見た後口動物の系統」和田 洋（筑波大），「反復説再考」倉谷 滋（理化学研究所），「無脊椎動物の系統と分類—最近の話題」白山義久（京大），「脊椎動物の起源を探る—脊椎動物の最も新しい共通祖先はホヤかナメクジウオか？」西川輝昭（名大），「系統ってなに？」馬渡峻輔（北大）・伊藤 希（筑波大）。

学会・シンポジウム情報

2008年3月21日（金）～24日（月）

第32回大会（東京海洋大，東京）[本誌大会プログラム]

2008年3月27日（木）

ナショナルバイオリソースプロジェクト藻類ワークショップ「藻類の凍結保存技術」（国立環境研究所，つくば）[本誌49頁]

2008年5月24日（土）～25日（日）

第11回マリンバイオテクノロジー学会大会（京都大，京都）[本誌49頁]

2008年6月23日（月）～26日（木）

7th International Chrysophyte Symposium (Connecticut College, New London, Connecticut, U.S.A.) [http://www.conncoll.edu/academics/departments/botany/ICS.html]

2008年9月25日（木）～27日（土）

日本植物学会第72回大会（高知大，高知）
[http://bsj.or.jp/index-j.php]

2008年10月20日（月）～24日（金）

5th World Fisheries Congress (Pacifico Yokohama,

Yokohama, Japan) [http://www.5thwfc2008.com/]

2008年10月27日（月）～30日（木）

The 8th International Conference on the Environmental Management of Enclosed Coastal Seas (Shanghai Everbright Convention & Exhibition Centre International Hotel, Shanghai, China) [http://www.emecs-8.ecnu.edu.cn/]

2008年11月3日（月）～7日（金）

The 13th International Conference on Harmful Algae 2008 (The Hong Kong Disneyland Hotel, Hong Kong, China) [http://www.hab2008.hk/home.htm]

2008年11月10日（月）～14日（金）

5th Asian Pacific Phycological Forum (Wellington, New Zealand) [http://www.appf2008.com/index.htm]

2009年8月2日（日）～8日（土）

9th International Phycological Congress (National Olympics Memorial Youth Center, Tokyo, Japan) [http://www.ec-japan.jp/ipc9/index.html, 次頁]